

1 ねらい

自分の生き方探しのために、生きることや働くことの意義について生徒一人一人に問題意識をもたせることをねらいとする。この「生き方学習」を進めようと考えた理由は次の3点からである。

【社会的背景から】

- ・若者を取り巻く状況・・・「犯罪の低年齢化」「人間関係の希薄化」「フリーター・ニートの増加」
 - ・学校生活・・・「不登校生徒の増加」
- ⇒子供たちが自分に自信を持ちにくくなっていたり、自分の生き方が見えにくくなったりしている。

【思春期の特徴から】

- ・特徴の一つ・・・「夢とか憧れに対して強烈に望むようになる」
- ⇒この時期に自分の夢や生き方をしっかり見つめることで、進路選択も含め、自分の生き方を見つめ、希望をもって進路に進むことができるのではないかな。

【子供の実態から】

- ・「素直」「自己表現をやや苦手とする傾向」「小規模校出身の子は人とかかわる経験が少ない」
 - 「山間部という地域的な特徴から、活動範囲が限られる」
- ⇒素直さを生かし、多くの人とかかわりながら、ダイナミックな活動を展開したい。

2 実践の概要

「生き方を学ぶ会」「職場体験学習」「名古屋スタディ」「立志の式」の活動を位置づけ、素敵な生き方をしている人や魅力的な職業などにふれながら、自分の生き方を見つめ、自分らしい生き方を探求する展開となるように配慮した。

(1) 生き方を学ぶ会

まず、生徒一人一人の理想とする生き方や将来の夢について考えさせることを学習の出発点とした。さらに、最も身近な家族が働くことや生き方についてどのように考えているのかを知るために、保護者への聞き取り調査を行った。

生徒たちの将来に対する意識が芽生えたところで、職業に就いて活躍している方のお



— この仕事のやりがいは・・・

総合的な学習の時間年間計画

4	16 (水) ⑤総合的な学習オリエンテーション ・年間活動計画 ・職業（生き方）についての学習
5	23 (水) ⑤⑥自分の夢と適正についての調べ
	7 (水) ⑤⑥身近な人の職業についての調べ
	9 (金) ⑥自分の夢や職業についての発表
6	14 (水) ⑤⑥職場体験希望調査・「生き方」学習
	21 (水) ⑤⑥職場体験希望取り・体験者紹介書き
	28 (水) ⑤⑥ 生き方を学ぶ会 （高木製作所さん他）
	4 (水) ⑤⑥職場体験準備
7	11 (水) ⑤⑥職場体験準備
	17 (火) ⑥職場体験事前指導
	18 (水) ①～⑥ 職場体験（岡崎市内）
	24 (火) ⑥職場体験まとめ お礼の手紙提出
9	2 (水) ⑤⑥職場体験まとめ
	9 (水) ⑤⑥名古屋班別学習オリエンテーション
10	16 (木) ⑤⑥1学期の学習のまとめ 名古屋班別学習オリエンテーション ・希望調査→班決め→事前学習
	11 12 (水) ①～⑥ 名古屋スタディ 修学旅行（東京）班別学習オリエンテーション ・希望調査→班決め→事前学習 スキー教室準備
1	18(火)～21(金)スキー教室（立志の式）

話を聞く会（生き方を学ぶ会）を開くことにした。生きがいをもって働いている方を講師に招いて、職業を選んだ理由や仕事への

充実感、苦労話などを聞く機会を設けることで、生徒たちの心を揺さぶり、働くことに対する意識をさらに高めたいと願ったからである。

(2) 職場体験学習

保護者への聞き取り調査や生き方を学ぶ会によって、自分の将来の夢や生き方を考えるようになった生徒たちに、実際に職場での勤労体験を通して、働くことの大変さや尊厳さを体験させ、働くことの意義を体感させたいと願って、仕事を体験する機会（職場体験学習）を設けた。

生徒たちは、それまでの学習や自分の適性、興味や関心

に応じて体験する職場を選択し、自分で職場への交渉を行った。上の表のような事業所が職場体験を引き受けてくださった。各事業所には、学校からの依頼書とともに、生徒たち一人一人の希望理由と学びたいことや体験したいことを書いた写真入りの手紙を同封した。



(3) 名古屋スタディ

職場体験の後に、再度将来の夢や生き方を考えさせる場をもち、生徒一人一人の学習の深まりや変容を追った。その中で、今回の体験ではできない職業に興味をもったり、これまでの学習をもとにさらに広い視野で職業を調べたりしたいとの願いをもっている生徒がいることがわかった。そこで、名古屋スタディ（班別調査活動）を実施することにした。訪問先は、下の表のような事業所が引き受けてくださった。

(4) 立志の式

これまでの学習のまとめとして、スキー合宿の2日目に立志の式を行った。自分を見つめ直し、将来に向けて目標をもたせたいと願ったからである。式を迎えるにあたり、自分の決意を作文に書かせた。また、式の中

中京大学（法律・心理）	東山動植物園（動物）	STRASSE（美容）
名古屋音楽大学（音楽）	名古屋市科学館（公共）	社会福祉法人フラワー園（福祉）
惟信保育園（保育）	名古屋大学医学研究所（医療）	ZIP-FM（放送）
名古屋服飾専門学校（服飾デザイン）	アニメイト（販売）	トライデント（IT）
代々木アニメーション学院（アニメ）	名古屋コミュニケーションアート（漫画）	シャポーブラン池下店（洋菓子）
名古屋地方裁判所（裁判）	ROSE FAN FAN（販売）	ホテルグランコート名古屋（ホテル）
中警察署（警察）	スポーツショップヒロセ（販売）	トヨタ名古屋自動車学校（自動車整備）
名古屋港水族館（水族館）	中日ドラゴンズ事務所・昇竜館（野球）	



で全員の生徒に、全体の前で決意を述べる機会を設け、その決意をさらに強固なものとなるようにした。式の運営上、決意は50字程度のものに要約させて実施した。

3 実践を振り返って

まず、お話を伺い仕事をするに関心を持つことができた。そして「体験を通して学びたい」「実際の職場を見てみたい」という思いを職場体験学習と名古屋スタディの活動に結び深めていくことができた。立志の式では自分の進んできた道、進んでゆく道を思い、生き方をみつめることができた。3年生での東京スタディ、進路選択へとさらに活動の支援を継続していく。